

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

平成29年度病虫害発生予報第1号(4月)について

このことについて、病虫害発生予報第1号を発表したので送付します。

予報第1号

いちごの微小害虫が増加しています！

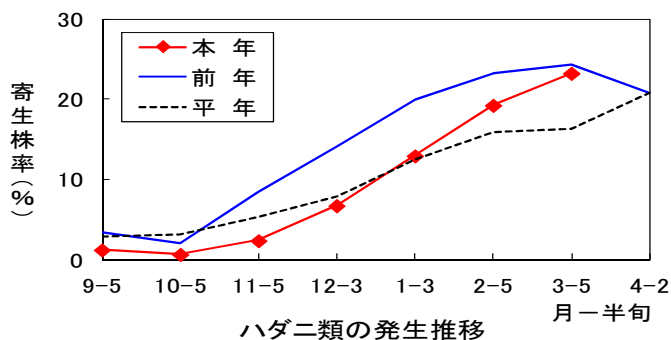
県内のいちご栽培ほ場では、現在ハダニ類が増加しており、また、アザミウマ類も一部のほ場で目立つようになっています。早期発見に努め、効果の高い薬剤で防除して下さい。なお、ハダニ類については親株の防除も徹底しましょう。



葉縁の窪みに潜むナミハダニ



花に寄生しているヒラズハナアザミウマ



<予想される向こう1か月の天候(平成29年4月1日~平成29年4月30日)>

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並か低く、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並か低く、3~4週目はほぼ平年並でしょう。

向こう1か月の気温・降水量・日照時間（数値は予想される出現確率）

| | 平均気温 | 降水量 | 日照時間 |
|--------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 九州北部地方 | 低40 並40 高20% 平年並か低い見込み | 少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み | 少20 並40 多40% 平年並か多い見込み |

（福岡管区气象台 平成29年3月30日発表抜粋）

4月における主な病害虫の発生動向は、次のように予想されます。

主な病害虫の発生予報概要

| 作物名 | 病害虫名 | 発生量 (現況) | 発生量 (4月の発生予報) | |
|-------|--------|-------------|------------------|-----|
| | | 平年比 | 平年比 | 前年比 |
| カンキツ | ミカンハダニ | 少 | 少 | 少 |
| 冬春イチゴ | うどんこ病 | 少 | 少 | 並 |
| 冬春ナス | すすかび病 | 並 | 並 | やや少 |

作物別発生予報

注1) 予報の発生量は平年（福岡県の過去10年間）及び参考として前年との比較で、「少、やや少、並、やや多、多」の5段階で示しています。

注2) 予報の根拠には、巡回調査、防除員の調査、予察灯・トラップでの誘殺状況調査等に基づく発生状況、気象予報からみた病害虫の発生条件を必要に応じて記載しています。それぞれの条件は、少発生（－）、やや少発生（－～±）、並発生（±）、やや多発生（±～＋）、多発生（＋）として示し、＋を総合的に判断して発生量を予想しています。

【果樹：かんきつ】

1 ミカンハダニ

(1) 予報の内容

発生量：平年・前年より少

(2) 予報の根拠

ア 3月5半旬調査の結果、発生量は平年より少なかった（－）。

寄生葉率 0.6%（平年 3.6%、前年 2.3%）

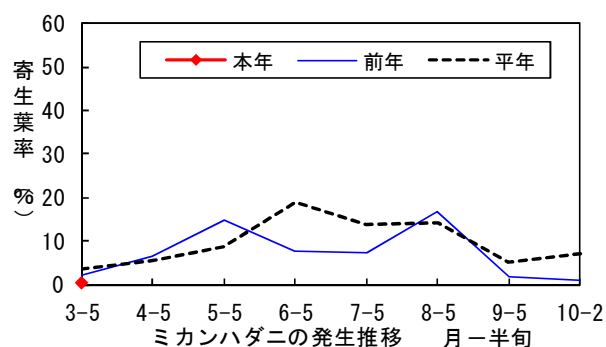
発生ほ場率 18.2%（平年 39.8%、前年 36.4%）

イ 向こう1か月の気象予報では、並発生の条件となっている（±）。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一薬剤の連用を避ける。

イ 農薬の使用及び散布等にあたっては、p 5の内容を確認の上、適切に実施する（以下の病害虫についても同様）。



【果樹：その他の病害虫】

| 作物名 病害虫名 | 発生量 (現況) | 発生量 (4月の発生予報) | | 防除上注意すべき事項等 |
|----------------------|-------------|------------------|-----|---|
| | 平年比 | 平年比 | 前年比 | |
| かんきつ そうか病 | 並 | 並 | 並 | <ul style="list-style-type: none"> 発芽直後～展葉期の薬剤防除を徹底し、初期発病を抑える。 罹病葉は伝染源になるので除去する。 |
| かいよう病 | 並 | 並 | 並 | |
| かき フジコナカイガ ラムシ | — | 並 | 並 | <ul style="list-style-type: none"> 前年の発生量から予測した越冬量は平年並と推測されるため、発生は平年並と考えられる。 越冬幼虫の新梢への移動時期（4月上中旬頃）から、薬剤防除を徹底する。 防除薬剤は、天敵に対して悪影響が少ない IGR 系殺虫剤を活用する。 |
| なし 黒星病 | — | やや多 | 並 | <ul style="list-style-type: none"> 前年の発生量から予測した越冬量は多いと推測されるため、初期発生量が多いと予想される。 薬剤防除上最も重要な散布時期は、開花直前から満開 20 日後である。 |

* (—) は未調査。なし、かきの発生量（予想）は平成28年の調査結果及び気象予報から予想。

【野菜：冬春イチゴ】

1 うどんこ病

(1) 予報の内容

発生量：平年より少、前年並

(2) 予報の根拠

ア 3月5半旬調査の結果、発生量は平年より少なかった(—)。

発病株率 0% (平年0.54%、前年0.14%)

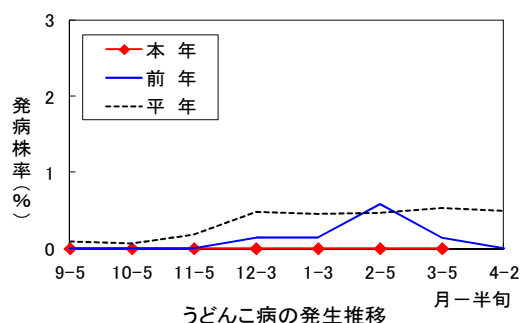
イ 向こう1か月の気象予報では、やや多発生の条件となっている(±~+)。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、古葉かぎ後、葉液が葉裏にもかかるように丁寧に散布する。

イ 同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

ウ 農薬の使用及び散布等にあたっては、p 5の内容を確認の上、適切に実施する(以下の病害虫についても同様)。



【野菜：冬春ナス】

1 すずかび病

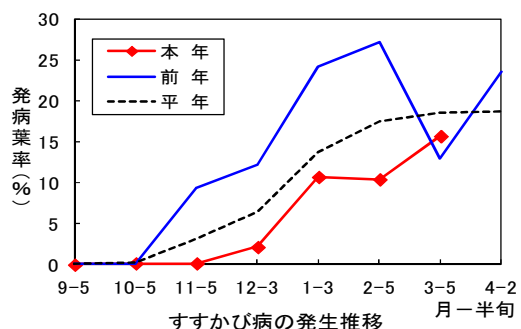
(1) 予報の内容

発生量：平年並、前年よりやや少

(2) 予報の根拠

ア 3月5半旬調査の結果、発生量は平年並であった(±)。

発病葉率 15.7% (平年 18.6%、前年 13%)



発生ほ場率 100%（平年 78.7%、前年 71.4%）

イ 向こう1か月の気象予報では、やや少発生の条件となっている（－～±）。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 適切にハウスの換気を行い、湿度の低下を図る。

イ 発病葉はできるだけ除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。

ウ 病勢が進展すると防除が困難であるため、発生初期の防除を徹底する。

エ 散布ムラができないように、丁寧に薬剤を散布する。

オ 同一系統薬剤の連続散布を控え、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

【野菜：その他の病害虫】

| 作物名 病害虫名 | 発生量 (現況) | 発生量 (4月の発生予報) | | 防除上注意すべき事項等 |
|-------------------------|-------------|------------------|-----|---|
| | 平年比 | 平年比 | 前年比 | |
| 冬春イチゴ 灰色かび病 | 少 | 少 | 少 | ・適切にハウスの換気を行い、湿度の低下を図る。 |
| 冬春ナス 灰色かび病 | 並 | 並 | 少 | ・罹病葉や罹病果実は早めに除去し、ほ場外へ処分する。 |
| 野菜共通 ミナミキイロア ザミウマ | 少 | 少 | 並 | ・葉裏への寄生が多いので、ムラがないように散布する。また、多発した場合は、約1週間後にもう一度薬剤散布を行う。 |

農薬の安全・適正使用、飛散防止対策の徹底を！

福岡県では、農薬の安全かつ適正な使用及び保管管理、使用現場における周辺への配慮を周知徹底するとともに、農薬による事故防止を目的として、安全使用講習会の開催や啓発チラシの配布等を関係機関、団体と一体となって取り組んでいます。

使用者の安全はもちろん、人畜・隣接作物・河川等への配慮について、ご指導をお願いします。

1 農薬適正使用の徹底

○適用作物、使用量や濃度、使用時期、総使用回数などが記載されたラベルをよく確認し、使用基準を遵守する。

※農薬の種類によっては、登録の内容がメーカーによって異なるので、ラベルをよく確認する。

(例：スミチオン水和剤40は、メーカーによって適用作物名や適用病害虫名が異なる)

○有効期限切れの農薬は使用せずに、産業廃棄物として処分する。

2 飛散防止対策の徹底

○風の弱い時に散布する。

○風向、散布方向、散布時間、散布圧などに留意する。

○飛散しにくい農薬（剤型）や飛散が少ないドリフト低減ノズルを使用する。

○散布ほ場周辺の収穫前の作物には十分注意する。

3 保護具の着用

○農薬の散布時には、ラベルの注意・警告マークをよく確認し、マスク、保護メガネ、ゴム手袋等を着用する。

4 農薬の散布後は、必ず散布器具を洗浄

○噴霧器、薬液タンク、ホースなどの散布器具を十分に洗浄する。

5 防除履歴の記帳

○農薬の散布が終わったら、作物名、ほ場の場所、使用年月日、薬剤名、使用濃度、使用量等を正確に記帳する。

6 空容器の処分

○空容器は、産業廃棄物処理業者に委託するなど、適切な処分を行う。

また、野焼きは法令で禁止されているので行わない。

福岡県病害虫防除所ではQRコードを作成しています。

携帯電話のQRコードリーダーでスキャンして頂くと、病害虫防除所ホームページに簡単にアクセスできますので、御利用下さい。

